桜新聞

発行所
盛岡市仁王田圃
岩手高等学校
岩手中学校
出版委員会新聞部
責任者　藤村圭秀
印刷所
岩手日報社

本年度予算決定す
図書委員会に十万円

昭和廿八年度石桜会各部及び、各委員会の予算は予算委員会において審議検討中であったが成案を得たので五月六日講堂において行われた総会の席上、満場一致を以て正式の可決を見た。

今、その予算決定の経過を見ると、まず、四月十三日に開かれた石桜会合同会議において『部の存廃の問題』と『石桜会会費の増額の問題』が決定され、従ってことに今年度の総収入額の見通しがついたので、いよいよ、各部の予算請求がなされうる段階となったのである。

PTA予算表

部名	科目	予算額
総務	学術奨励費	60,000.00
〃	講習出版視察費	60,000.00
〃	慶弔費	10,000.00
〃	事務費	5,000.00
〃	雑費	40,000.00
〃	予備費	15,096.27
〃	小計	190,096.27
文化	視聴覚教育費	50,000.00
〃	図書費	20,000.00
〃	教材費	41,000.00
〃	博物館費	20,000.00
〃	文化祭補助費	10,000.00
〃	小計	141,000.00
指導	校外指導費	38,000.00
〃	石桜新聞補助費	60,000.00
〃	聯業指導費	2,000.00
〃	講演会費	8,000.00
〃	雑費	0
〃	小計	108,000.00
厚生	保健体育費	100,000.00
事業	事業資金	5,000.00
	合計	544,096.27

昭和二十八年度石桜会予算

予算経目		予算額
委員会	総務	1,315.00
〃	生活	1,290.00
〃	学習	2,000.00
〃	出版	22,211.00
〃	文化	3,400.00
〃	体育	2,000.00
〃	図書	102,490.00
文化	弁論部	3,000.00
〃	科学	13,011.00
〃	郷研	2,507.00
〃	美術	11,002.00
〃	音楽	8,486.00
〃	映画	2,027.00
〃	演劇	11,077.00
〃	英会話	4,000.00
体育	陸競	10,900.00
〃	水泳	10,000.00
〃	庭球	9,102.00
〃	卓球	9,410.00
〃	ラグビー	22,000.00
〃	スケート	14,480.00
〃	バスケット	
〃	バレー	14,000.0
〃	硬野	25,000.00
〃	軟野(中)	8,155.00
〃	山岳	6,000.00
〃	体操	11,542.00
〃	スキー	5,000.00
〃	スケート	21,000.00
〃	ハンドボール	10,000.00
〃	柔道	8,000.00
その他	速征費	127,769.00
〃	雑費	30,627.34
謝恩基金		9,500.00
予備費		22,000.00
計		564,262.34

(注)　昨年度残額を含む

学制発布記念祝典に参列して
佐々木哲郎

学制発布八十年記念式典は、五月十三日午前十時東京神田の共立講堂に天皇、皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、吉田首相代理初め閣僚、被表彰者代表、国会議員、教育委員会、学校関係者代表、外交団、新聞報道関係者、民間団体代表、文部省関係者など二千五百名が参列して盛大に挙行された。

十時五分東京消防庁音楽隊の君が代吹奏裡に両陛下御入場、西崎文部次官の開会の辞に続いて岡野文相が式辞を朗読、総理大臣祝辞は大野木国務相代読、畑日外交団代表モーリス・ドジャン仏大使が祝辞を述べた後、勤続四十年以上の教育功労者七百七十四名（内私立学校関係者三百十一名）を選び、その表彰式が行われた。式典に参列した被表彰者代表三百名の全員起立のうちに東京都中央高校長長真琴氏、都立小山台高校長岩本実二郎氏が功労者を代表して、岡野文相から表彰状及び記念品をうけた。続いて天皇陛下から次の様な御言葉を頂いた。

本日学制八十年記念式典に臨み諸君と一堂に会することは誠に喜びに堪えません。教育は国運進展の基礎であり、民主的な文化国家として建設の途上にある我が国にとっては特に大切であります。教育に携わる者は、過去を顧み、先人の功を偲び、中正の道にしたがい、心をあわせて使命の達成に一層努力するように希望します。

岡野文相の祭辞があって、両陛下には若き代吹奏裡に御退場、西崎次官の閉会の辞を以て十時半式典が滞りなく終った。

『学制八十年記念の集い』が催され、岡野文相の挨拶の後、天野貞祐氏の『学制八十年の回顧と展望』、長谷川如是閑氏の『教育と国家及び個人』の講演あり、それから芸能人の独唱と踊りや幻燈ありの映画も上映された。

岩手県の被表彰者は十九名（そのうち私学関係三名）で代表として五名が式典に参列したが、私は式場特設の被表彰者席の最前列に着席したので、両陛下を間近に拝し間近に御言葉を承ることが出来、光栄感激ひとしをであった。

回顧すれば、明治四十一年廿五才の青年教師として青森県の中学に教鞭を執ってより公私の中学に教諭として在職十四年、校長としての在勤は公私を合せて三十二年になるが大正十年新潟県立柏崎中学を振出しに同県新発田中学、長野県長野中学と三校の公立校長として在勤十二年、昭和八年四月より当校々長に就任以来今日までの在職二十年、前後を通じ四十六年間の永い教育界の経歴において、天皇、皇后両陛下御臨席の御前にて表彰せられた事は、私には初めての事であり、空前の光栄であり感に感激堪え能わざる所である。これひとえに健康な体軀を父母から与えられ、恩師先輩友人知己その他数えつくせぬ衆生恩を身に浴びて、教育道に操守一貫したる賜なると顧み、感謝感恩の想いに沈潜する余裕を得ない。私は齢すでに七十に達し、この度の光栄を浴びたるにつけても、せめて操守を汚すことなく教育者としての節節を全うして心静かに余生を送りたいものと念願して止まない。

学校行事予定

予算請求書は四月十六日、総務委員会にとりまとめられ、そこに集った各委員会及び各部からの請求額は、正副会長及び会計係のもとで慎重に協議検討され、五月二日の石桜会予算委員会に予算案として提出されたのであるが、ここでも更に協議修正されて、五月六日の総会に提出される運びとなったのである。

今年度の予算を概観すると、昨年度に比べて、石桜会費の収入が著るしく多くなっていることが目につく。

これは、七月下旬、墾されて予定になっている図書館建設を前にして、生徒一同の図書費を増額して蔵書数を増やそうという決意のもとに、会費を四十円から五十円に引き上げ決定したことによるものであって、この予算面にも、ニキビ顔がったり顔して曰くに『らの提案『Mさんの髪の毛は何時早く結婚しなければ』『Mさんの髪の毛は何時までこのニキビは取れないぞ』これはこれはアジャパー。

▽予算請求書提出期
これは暁星高校生がものにした珍案文学の巨眉。曰く『朝は教室鐘はすでに鳴りたるよう集りたる生徒の頭も並みて遅刻したる。昼は弁当、馬肥ゆる秋は更なり。授業中にも摘まみ喰いしたる胸の膨るるさえおかし。すさまじき者夏の黒服、飯の上のパン、腰窓壊れたる机、怒り顔の教師、朝礼の号令、まして試験はいとすさまじ。

▽ニキビ消滅法
富士森高校では、ニキビ消滅論が出た所『結婚すればなくなる』との珍結論に到達した。そこであるから立ち上った司馬なお嬢さんかハヤ。

▽掃除大臣
掃除サボに手を焼いた久留米高校のあるクラスでは、遂に掃除大臣なる者を全名選出、これに対し基高校三年の教室。重々しい空気の中で試験実施中、監督の先生に『大変です。御子様がトラックにはねられました。大至急お帰り下さい』と電話あり、年後に予定の試験が中途で中止となったが、その電話いとも無質な試験妨害と判明。カンカンになったその先生再試験にはものすごい難問を出してギュウギュウいわせたとかヤイ。

▽試験に奥の手
高校三年の教室。重々しい空気臣なる者全名選出、これに対し基高校三年の教室。監督の先生に

▽オオノ羨ましい
東京は基高校の話であるが、ある日の一年某クラスのホームルームとの時間にモジモジ顔を紅らめながら立ち上った司馬なお嬢さんかハヤ。

そして、今年度は、この図書委員会予算のみならず、各委員会、各部とも、それぞれ予算が増額になっているのであるが、それが、今年度の各委員会、各部の活動に如何に反映して来るか、われわれは、期待と希望をもって、それを見まもっているのだ。

校外短信

団長に照井哲君
清新成る応援団

新学年による団員総動員に基づいて応援団のメンバーが以前から慎重に審議選衡を重ねられて居たが、次の左項に掲げられる人々がその審議において決定された。

▽団長　照井哲君（3C）
▽副団長　遠藤英造（3A）斎藤公志朗（3B）佐藤秀典（3C）井上六之進（三丙）
▽幹部　道上保、岩脇豊夫、佐々木益世、斎藤進、豊川譲（以上3A）田上仁、堀切呉郎、安原洋雄、吉田厳（以上3B）石田晴、鎌田隆（3C）中村勝美、斎藤忠光（2A）熊谷寿郎、館沢貞行（2B）佐々木正志、日山浩一（2C）武田忠仁（三甲）以上24名なお、顧問には戸鳴先生、日野岳先生、居沢先生が当られた。

以上の様な新メンバーで活動を開始し初めた応援団は、熱烈応援となお一層の工夫を試み様と種々検討の結果、新応援歌募集と幹部の新ユニフォーム制定の二案を決定すると共に早速之に着手した。新応援歌制定の声は以前から強く叫ばれていたが、応援団も活動開始の時に当りこれを機としてこれが制定に乗り出したわけである。同団は出版委員会と協力して目下応募作品の選衡を行っている。

また内々計画デザイン中のユニフォームも、去る五月十七日の対

写真は幹部のユニホームも揃った或る日の本校応援風景、円内は照井応援団長

採点方法改めらる！

今度学校では従来の成績表指示法を改めて十点法による採点方法を採ることとした。

従来は正常分配曲線による五段階方法であったがこれは生徒の学業成績が当学年において如何なる地位にあるかを示すものであった。従ってこの方法には長所もあったが、また反面において生徒の努力による成績の向上に高低があるとよく言われない欠点があったのでこれを解決する為に得点そのままを前期・後期の成績として発表し学年成績においても点数を採用するという。この新採点科目の目標には多少の修正が加えられるとのことである。

盛岡一高野球部に初お目見得をしその兼腊色の色彩は在来とは一変したいかにも私学の若高中らしく観衆に好感を呼び、この日の応援は一段と光り、かくては一高を大差で降したわけである。スポーツ季節到来に当り、試合に際してその勝利と健闘に大なる寄与をなす所の応援を考える時、この様にして清新の気に満ちている同団の活動は期待の的として関心が寄せられている。

五行アンケート

一、趣味
二、愛読書
三、好きな食物
四、尊敬する人物
五、自慢出来る物事

照井敏夫先生　数学担当
一、野球、相撲等スポーツ観賞、映画、山野跋渉（趣味の内？）
二、肩の凝らぬ科学雑誌、リーダースダイジェスト等。
三、甘い物なら人後におちないつもり。山菜、茸等も嗜好物。
四、年令はよって移り変りがあり今では道等は偉いと思っています。郷土の先輩では米内光政
五、他人のように自慢出来るような物事はもち合わせません。

高橋清四郎先生　英語担当
一、バレーボール、写真、花卉園芸。
二、これといって特にあげるべきものなし。
三、墓子、特にケイクに属するもの及び果物。
四、別になし。
五、なし。

及川徳夫先生　国語担当
一、足に任せて野山を一人で散策すること。旅への郷愁。
二、モリエール作、辰野隆訳『孤客』その他、市原豊太氏のもの
三、アルコール及び甘いもの。どちらかといえば（声をひくめて）アルコール。
四、恩師綾部友治郎先生。一口にいうと先生は如何なる場合でも人間的である。
五、これがある位なら私は先生にならなかったのである。

セイコー舎特約店
OSS製品特約
商店組合加盟店
大橋時計店
盛岡市材木町
電話七九三番

▽紙、文具△
中学、高校生の店
木津屋文具店
盛岡市材木町
電話二四〇番

＝スポーツ用品なら何でも揃う＝
藤沢体育堂
盛岡市材木町
電話四三二番

六月四日―九日
カンサス騎兵隊　結婚案内
十日―十四日
カサブランカ　丘は花ざかり
十五日―十九日
今月の上映予定
二十日―二十四日
廿五日―廿九日
卅日―三日
検察官閣下＝ワーナー
君去りし後＝〃
港へ来た男＝東宝
夫婦＝〃
放浪の王子＝ワーナー
恋の捕縄＝東宝
渡洋爆撃隊＝ワーナー
続姿三四郎＝東宝
市内一安い料金
銀映座
長町

腕時計ならセイコー
時計と眼鏡の御用は
山屋時計店
盛岡市茅町二六
電話　一一五番

折にふれて

池野礼子

若葉の緑色まさり微風野に山に満ち満ち、いよいよ、自然の美しさ二入る候になった。一日の仕事から開放されて一室にいるとデロデロと蛙の合唱が聞こえ初める。

『秋来ぬと眼にはさやかに見えねども風の音にぞ驚かれぬる』と詠んだ古人があったが、暦よりも自然の姿からの季節の表現は味のあるものだ。春を代表する桜、その木の下で蝶よ舞え、鳥よ歌えと宴を張りながら果して桜花の散り良い愛でつべき美しさを眺めわ得た人がどれだけあるだろうか。将に花よりダンゴ主義か。

丁度、時折訪れる催し物が面白く珍らしいのと同じごとく、むしろ毎日毎日の生活を忘れたようなものではなかろうか。梅雨にぬれた水仙の葉莖の美を花敵った後に感ずること。一年中色良い松の姿にふと眺を注ぐ時、つくづくと毎日の仕事の尊さを考えさせられる。朝学校に行って机に向い、時折ペンを走らせ昼には弁当にかじりつきながら、ふと窓外を見ると、鳴呼今日もかと機械的な生活と思ったら今の大間違いではなかろうか。川はたゆまず流れるが昨日の水と今日の水、先刻の水と今の水では今異り、刻一刻、瞬間ごとに新しさを持っている。同じ様に私達の生活も、日毎夜毎の新しい人生の流れである。今日即ち五月十九日は一生に一度『今日を限りの生命ともがな』である……。と考えれば一日といえども一時間といえども浪費すべきではない。然し一時間ありと思う心のあだ桜、夜半に風の吹かぬものかは」とはいうものの仲々にして、いうは易し行為は難しいものだ。

さて桜について思ったこと一つ、というのは、『朝日に匂う山桜花』を曽ってはスポーツ、その特性としては潔く散りゆく姿であった。思うに昔から日本には特攻隊的思想？があったのではなかろうか。パッと咲いてパッと散るのを別に考えれば熱しも易く覚め易い。日本人の性質が如実に現われているといっても過言ではあるまい確かにそうだ。仕事に夢中にはなり易いが、完全には最後まで完遂することの少ないのが案外に目立つ。

ある行動をするためには莫大な時間をさいて演習はするが、急にやった所で上手く出来るものでもない。終ってしまえばもうそれっきり。そこに一つの反省があり、次の機会への出発点となるということが往々に忘却されている感じがする。

次の機会への出発点となるということが往々に忘却されている感じがする。

たゆまざる努力、不断の念願こそ最も欲しいものである。この度は、女の先生に、是非書けとのことで一寸感じていたことを書いて見たものの、私自身思っていることの万分の一も満足に出来ないのが残念である。

ポカァ　ポカァ——
ポカァ　ポカァ——
けだるい馬の足音と
白雲と
緑の木と草々と
遠い山脈と。
ああ！
六月は憂鬱な季節。
皮膚を焦がす
太陽が恋しい。

課題論文

正義派

三C　斎藤裕

一体この正義派というカテゴリーの中に入る人間を観察する時、我々は彼等の精神内容をどの様に分類していく事が出来るだろうか勿論これ一概には体系化出来ない問題であるが、他面非常にそこに個性的なものを見得る。というのはこの正義と称する人間がその行動において自ら益々矛盾と内省によって相剋されるのを見受けるからである。

彼等の行動から一般の人々、即ち我々は種々の感知せる像を作り上げる課程をなす大半の原因は行為者にあると見て良い。そして我々は正義派なるものをこの課程の原因をなすものに置いて分類して見よう。

まず我々は〝正義派〟なる者の行動から自己嫌悪に似た蛸蝎の念を感ずる事がよくある。これは勿論〝所謂正義派〟の行動による事が多い。そしてこの嫌悪の情は、勿論彼等の偽善と看做し得べき行動に起因する。偽善が感性に嫌悪の情を起さしむるのは、自然の情というより自分に内在する『善に対する良心』なるもののディスクレッションに存す。故に我々は〝所謂正義派〟を善に対する良心を持って否定し得る立場にあるのであるが、この所謂正義派は真正々義の如く振舞って我々の目をごまかすがこの看破は時間が経てば解決して貰れるだろう。

さてそれに先立ち我々は真正々義と所謂正義派の定義を如何に下すべきか。これは理性の綱領に関する問題で、即ち行為者の動機に純粋に善に対しての根拠がありや否やである。この純粋性こそ〝正義派〟の価値判断に重大な論点を持つものと考えられる。

然し我々が彼等の処理を分析して見て完全な純粋性を見出し得るだろうか。恐らく彼等の心中には少しの純粋性と多くの虚栄とを持ち合わせて居るのだ。〝虚栄の彷徨〟は彼等正義派をして善らしく見えらしむべき動機をなす。又一方それは彼等の心中に挙りて残っている良心に〝呵責〟を形成せしむ。

然し再度もいう様に全部が全部このタイプとは限らない。何故なら純粋な動機を持ち、純粋な結果に終るものもあるからだ。これはむしろ正義派の少数の者で、然も〝本命〟をなす者だ。この動機の純粋性は一つの事象に対して個々の良心一善に対する精神内容が偶発的な程、純粋性が高いものである。計画された善などというものは益々その動機が不純で偽善である事が多いし虚栄に陥り易い。

我々はここで正義派の定義を以上の様に広くとり、一つの具体的な事象を例として採り上げて見よう。例えばある満員電車の中でお婆さんが入って来、如何にも困った風な様子で立っているとする。その場合『A』は心中、そのお婆さんの動作の如何にも作為的な、之も能が席の立つのを待っている風な様子を見て気の毒にも感じないのに、ありふれた倫理から立って席を譲った。この場合我々には我々のモラルによって考えると、彼の動機は明らかに不純で虚栄の要素が多分にあるのを見受ける。又小さい子供が小からの同情でそういった動作の偽善にひっかかっても、これは動機が純粋であるといえる。別に親や教師からの（強制的な）しつけでそういう動作を起したとしたら子供ながら善もちのならば偽善である。

我々が理想として持つ正義派はあくまでも〝善の精神〟のつっぱり最大限の自己の発揮—それは他人にとって時には偽善に見える事あるかも知れんが、今では時間と大衆が決してくれる—を目指し純粋な理性批判が欲しい。そういった観点から人間完成途上に対する生きと上げる誰もがこの正義的気持を少くとも一度は抱き、且つそれに懐疑的になり、又自己嫌悪と戦いながら明日への飛躍にエネルギーを貯えているのを我々は見受ける。

ごだま

下級生諸君に聞う、君等は登校下校の際、あるいは街頭において先生、上級生と遇った場合挨拶を交わしているだろうか、このことは度々注意されることであり最も容易なようでありながら、なかなか実行されないものの一つである。街を歩いていて自分と同じ帽章をつけた人間が、こちらをじろりとにらんで通りすぎる時の不快さたるやない。また、先生と遇った時など、合っている視線をわざと外して知らん振りをして行きすぎる者がいる。全く閉用なことが出来るものだ。

もちろんこのごろは応援団の威嚇によって街で頭を下げる者がちらり保ちり、だが応援団あって始めてこれでは変えざるを得ない。

これらの事は注意されるまでもなく生徒間相互で自発的に挨拶すべきことであるが、注意されてもなお且つ実行しないというのだから話にならん。

もっと親しみを持って互に挨拶仕合った方がいかに快く愉快なことであろうか、八百の生徒が皆兄弟となって親しみ合うならば、応援団暴力事件なを起したくとも起らないだろう。

互に挨拶仕合うことが親交の始めとなれば両者の破綻の因とは絶対になり得ないということを銘記しこのような細かなことからも共に親しみ合って、この学校生活をより美しく、より楽しくすごそうではないか。

要は、頭を下げる声をかけるというのではなく、どうして互に挨拶し得ないのかと不思議に思うのである。諸君に対し警鐘を乱打してやまない。（編集室主帝）

編集室

曇天の日はかり多く愛憎なる編集であったが、かくの如き新聞が出来上った。寄稿原稿小さな記事が不足な様だがどうであろう。

随筆では池野先生に御苦労を願った。野球、高体連、その他種々の当然掲載すべき記事が沢山あったのだが紙面の都合上次号に廻す事にした。

それから投書箱の件であるが、之はよく本校生徒の欠点を示していた。というのは先号でこの独自の欄を設けると約束したのだが、いっこう目立ちものがない。全く期待を裏切られて落胆してしまう。泥にまみれたくしゃくしゃの五十銭札があったのには驚いた人情のうすい世の中ではあるが、これ程とは思わなかった。部員数十四名ですソ。パンは一ケ幾らですかな。厨箱と間違えていた御人もあったそうな。全くの貧慨である。そんなものの代りに真面目な意見要望等の投書の方がどんなに我々を歓ばせるか知れない。投書がいやであったならあの箱を利用して編集方法に辛辣なるケチをつけて呉れたなら打ち砕く鬼天ケサリ切った編集子の一服の清涼剤にもなろうに。冗談はさておき、あの箱が学校生活に役立つ様にと念じている我々を忘れないで下さい。次号発行は七月中旬の予定。

原稿募集

次回発行の第二十四号は、久し振りに輪転にてプランケット版（大版）を仕組中ですから是非寄稿を御願い致します。

◇応募資格　在校生、PTA、職員、卒業生。

◇種　目　論文、評論、詩、短歌、俳句、随筆その他。

なお、〆切は定めませんからいつでもどしどし御願い致します。また会誌掲載も企画中ですので近日中に募集の予定です。

出版委員会

各部とも決勝で惜敗

第五回市民体育祭

第五回市民体育祭は、去月三、四、五の三日間、桜花匂う内外各会場で、約三千の若人が参加して行なわれた。本校からも各種目に出場し次の様な好成績を収めた。

なお、これに先立ち二日の夜には市内行進、体操の夕なぎが繰り拡げられた。

▽成　績△

○ラクビー（医大グラウンド）

▽準決勝

岩手高　9—0　盛岡一高

▽決　勝

岩手高　3—9　盛岡工

○バレー（仁王小コート）

▽準決勝

岩手高　2—1　盛岡商業

▽決　勝

岩手高　0　2013　2221　2　盛工高

○陸上競技（県営グラウンド）

▽二百㍍❶長谷川25秒5❷南黒沢12秒6❸岩手高❹岩脇12秒2❷南黒沢12秒4❸及川12秒4❸及川

○千㍍リレー❶岩手高（宮脇、南黒沢、及川、長谷川）2分15秒6

▽三段跳❶高橋11㍍80

▽円盤投❶斎藤33㍍50❷岩脇30㍍89

○中学バスケット（上田中）

▽一回戦　岩中11—17上田中

○水　泳（高松池）

▽中学百五十㍍

❶川辺2分33秒4❷細原2分38秒6❸浦山2分41秒2❹磯崎2分44秒8

▽高校四百㍍

❶吉田6分20秒0❷小森6分45秒6❸照井6分50秒0❹遠藤16分56秒0

○体　操（盛岡工業）

❶上田中A❷岩中A96・30❸岩中B86・75

▽団体徒手❶上田中❷岩中40・50

○バスケットボール（盛岡一高）

▽一回戦　不戦勝

▽一回戦　岩手高　19—13　盛岡一高

▽決　勝

岩　高33（18 14 19 13）35　盛岡一高

○庭球（工事々務所）＝高校

▽一回戦

坂下・蒲田4—0橋　高

一宮・坂本4—1盛岡一高

坂下・阿部4—0橋　高

▽一回戦

井上・小枝指3—0加賀野中

寺沢・船越3—0上田中

田沼・畠山3—1上田中

繞糧・久保田3—0附属中

小野・佐々木3—1附属中

高橋・小笠原1—3下小路中

小枝指・山田0—3附属中

▽二回戦

井上・小枝指3—2下ノ橋中

寺沢・船越3—0下ノ橋中

田沼・畠山1—3下ノ橋中

寺沢・船越（岩）3—1下ノ橋

小野・佐々木（岩）3—1下ノ橋中

▽決　勝

小野・佐々木（岩）3—0寺沢・船越（岩）

○中学野球（下ノ橋中）

▽一回戦　岩中15—1　厨川中

▽二回戦　岩中12—2　米内中

▽準決勝　岩中7—2　下小路中

▽決　勝　岩中1—0　下小路中

○軟球（市立高コート）

▽一回戦

菊池（岩）2—0村田（盛高）

後藤（〃）2—0高梨（橋高）

小森（〃）2—0工藤（美高）

立花（〃）2—0熊谷（橋高）

▽二回戦

菊池（岩）2—0添戸（盛工）

後藤（〃）2—1八本（盛工）

小森（〃）0—2村田（盛高）

立花（〃）0—2根田（盛農）

▽三回戦

菊池（岩）0—2辛野（盛一）

後藤（〃）0—2細川（〃）

○ハンドボール（一高グラウンド）

▽決　勝

岩　高2—4　10　盛岡一高

会　告

現在学校に保存している行桜新聞の左の号が欠けているので皆様から該当号の提供を仰いで今後整理保存を堅くしたいと思います。所持の方は是非提供を御願い致します。★募集号次の通り。

一号（三部）二号（一部）八号（二部）九号（三部）十四号（十三号となっております。）十八号年十二月二十三日付で吉田印刷発行のもの）十六号（一部）十七号（一部）十九号（一部）二十号（一部）

編集・出版委員会（社会科教材室内）

眼は知識の窓
メガネは能率の泉
大切な眼を正しいメガネで守りましょう
メガネ専門　水晶堂
本店　盛岡市中ノ橋通り　電六三二
支店　盛岡市中劇通り　六八八

校章入りノート
平金商店
盛岡市肴町角　電話48・3048番

伝統四十年の靴
☆強くてもちよい、安くてはきよい☆
立花の靴
盛岡市肴町一丁目TEL193

☆杜陵最古の歴史
☆優秀万年筆の店
万年堂
盛岡市中ノ橋通り
電話　二六一番